

学位授与機構ニュース

National Institution for Academic Degrees

第 4 号

平成 7 年 7 月発行



★学士の学位授与システムをわかりやすく説明したリーフレット★

目次

◆学位の申請・授与等の状況

- 平成 7 年度 4 月期の学士の学位授与申請状況…………… 2
- 大学院修士課程相当の課程修了者からの学位授与申請状況…………… 3
- 平成 7 年度 10 月期の学士の学位授与の申請受付期間…………… 3

◆機構の窓

- 会議の開催状況…………… 4
- 委員の交代…………… 4
- 専門委員会の名称の変更について…………… 4

次

- 平成 7 年度主要事業計画…………… 5
- 専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の教務担当教員及び事務職員への説明会の開催のお知らせ…………… 6
- ◆学位授与機構の構想についての提言④
 - 平成元年 7 月 27 日 大学審議会「大学教育部会における審議の概要について」
— 抜粋 —…………… 6
 - 平成 7 年度学位授与機構
審査スケジュール…………… 8

学位の申請・授与等の状況

○短大・高専卒業者等

158人から学士の学位授与申請

－平成7年度4月期申請分－

平成7年度4月期の短期大学、高等専門学校卒業業者等からの学士の学位授与の申請を受け付けた結果、16専攻分野、26の専攻の区分にわたる158人から申請がありました。前年の同時期の申請者数（平成6年度4月期69人）と比べ、約2.3倍の大幅な増加となりました。

申請者の基礎資格をみると、短期大学卒業者が131人、大学中退者が15人（うち大学院飛び級者2人）、大学卒業者が9人、高等専門学校卒業業者が3人であり、また、これらのうち認定専攻科の修了者は84人（2年制短大に置かれる修業年限1年の専攻科修了者14人、2年制短大に置かれる修業年限2年の専攻科修了者11人、3年制短大に置かれる修業年限1年の専攻科修了者56人、高専に置かれる修業年限2年の専攻科修了者3人）となっています。

なお、各専攻分野別の申請者の内訳は右の表のとおりです。「看護学」（65人）及び「保健衛生学」（42人）の専攻分野の申請者数が全体の7割弱を占めています。また、「国語国文学」、「仏語・仏文学」及び「神学」の専攻の区分に、今回初めて申請がありました。

今回申請のあった158人については、5月17日（水）開催の審査会に機構長から学位授与の可否についての審査が付託され、審査会では修得単位及び学修成果の審査並びに試験を行う専門委員会を指定、付託が行われ、6月18日（日）に東京都内及び大阪府内の2か所で試験が実施されました。

現在、各専門委員会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査が進められており、9月には合格者に学士の学位が授与される予定です。

〈専攻分野別申請者数一覧〉

専攻分野	専攻の区分	申請者数
文 学	国 語 国 文 学	5人
	英 語 ・ 英 米 文 学	1
	仏 語 ・ 仏 文 学	1
	歴 史 学	3
教 育 学	教 育 学	8
神 学	神 学	1
社 会 学	社 会 福 祉 学	2
教 養	科 学 技 術 研 究	1
法 学	法 学	3
経 済 学	経 済 学	3
商 学	商 学	1
経 営 学	経 営 学	1
理 学	生 物 学 系	1
看 護 学	看 護 学	65
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	14
	放 射 線 技 術 科 学	6
	理 学 療 法 学	10
	作 業 療 法 学	12
栄 養 学	栄 養 学	3
工 学	機 械 工 学	2
	電 気 電 子 工 学	2
	情 報 工 学	1
	応 用 化 学	1
家 政 学	家 政 学	2
芸 術 学	音 楽	2
	美 術	7
合 計		158

〈申請者数一覧〉

○90人から修士の学位授与の申請

－大学院修士課程相当の課程修了者－

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定された、平成7年3月の防衛大学校理工学研究科修了者70人、職業能力開発大学校研究課程修了者20人の合計90人（前年度同期86人）から、平成7年3月に修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査が、5月17日（水）開催の審査会に機構長から付託され、審査会では論文の審査及び試験を行う専門委員会として理学及び工学の専門委員会を指定、付託が行われました。

現在、両専門委員会では、各申請者ごとに論文の審査及び口述による試験が進められており、9月には合格者に修士の学位が授与される予定です。

専攻分野	申請者数			備考
	計	防衛大学校理工学研究科修了者	職業能力開発大学校研究課程修了者	
理学	6人	2人	人	数学・情報系
		4		物理学・地学系
工学	84	10	5	機械工学
		19	4	電気電子工学
		9	1	情報工学
		3	1	応用化学
		1		材料工学
		7		土木工学
			5	建築学
		7	1	応用物理学
		8		航空工学
			1	造形工学
			2	福祉工学
合計	90	70	20	

○平成7年度10月期の学士の学位授与の申請受付期間

申請の時期の区分	受付期間	
10月期の申請	郵送	平成7年10月1日（日）～10月16日（月）（当日消印有効）
	窓口受付の場合	平成7年10月2日（月）～10月16日（月） （土曜日、日曜日及び国民の祝日を除く） 〔受付時間〕午前9時30分～午後4時

※平成7年度10月期の申請受付期間は、10月前半までとなりますので御注意下さい。

機 構 の 窓

○会議の開催状況

□運営委員会

第15回 平成7年6月9日(金)

・主な議事項目

- (1)平成7年度主要事業計画について
- (2)平成8年度概算要求事項について
- (3)審査委員候補者について
- (4)専門委員候補者について
- (5)教育の実施状況等の審査の実施に係る関係規程の改正・制定について
- (6)学位規則第6条第1項に規定する学士の学位授与申請について
- (7)その他

□審査会

第25回 平成7年5月17日(火)

・主な議事項目

- (1)学位規則第6条第1項に規定する学士の学位授与の審査の付託について
- (2)認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査の付託について
- (3)認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査について
- (4)防衛大学校理工学研究科の課程の改組に伴う審査の付託について
- (5)教育の実施状況等の審査の実施及び関係規程の改正について
- (6)学士の学位授与に係る修得単位の審査の基準について
- (7)その他

○委員の交代

□専門委員

平成7年度審査会専門委員として、17の専門委員会に全国の国公立大学の教員248名の方に、機構長から委嘱が行われ、学位授与の審査等を担当していただくこととなりました。

また、臨時専門委員として43名の方に機構長から委嘱が行われました。

○専門委員会の名称の変更について

平成7年5月17日(水)に開催された審査会において、今後の学位授与審査等に対応するため、専門委員会の名称変更及び部会の追加等が行われました。

専門委員会	部会の名称
文学・神学	国語国文学 英語・英米文学 独語・独文学 仏語・仏文学 歴史学 哲学 心理学 宗教学
教育学	—————
社会学	社会学 社会福祉学
教養・学芸	—————
法学・政治学	—————
経済学・商学・経営学	—————
理学	数学・情報系 物理学・地学系 化学系 生物学系
医学・薬学	医学 薬学
看護学・保健衛生学・鍼灸学	看護学 保健衛生学 検査技術科学 放射線技術科学 理学・作業療法学 鍼灸学

家政学・栄養学	家政学 栄養学
工学・芸術工学	機械工学 電気電子工学 情報工学 応用化学 材料工学 土木工学 建築学 応用物理学 航空工学 造形工学・芸術工学 福祉工学
農学	—————
水産学	—————
芸術学	音楽 美術
体育学	—————
商船学・海上保安	—————
社会科学に関する特別委員会	—————

※アンダーラインの部分が今回新たに追加されたもの。

○平成7年度主要事業計画

1. 学位の授与

(1) 短期大学・高等専門学校卒業者等に対する学士の学位の授与関係

①学士の学位の授与

4月・10月申請受付，9月・3月学士の学位の授与

②専攻の区分ごとの修得単位の審査基準の整備

③短期大学，高等専門学校の専攻科の認定
9月末申出受付，1月認定の判定

(2) 認定課程修了者に対する学位の授与関係

①学位の授与

○学士

・防衛大学校本科，防衛医科大学校医学教育部医学科，水産大学校本

科，海上保安大学校本科，気象大学校大学部，職業能力開発大学校長期課程修了者

○修士

・防衛大学校理工学研究科，職業能力開発大学校研究課程修了者

○博士

・防衛医科大学校医学教育部医学科研究科修了者

②課程の認定

・防衛大学校理工学研究科の課程の改組

2. 調査研究

学位の授与を行うために必要な学習の成果の評価に関する調査研究

①単位累積による学習の体系性に関する調査研究

②高等教育レベルの学習の評価に関する調査研究等

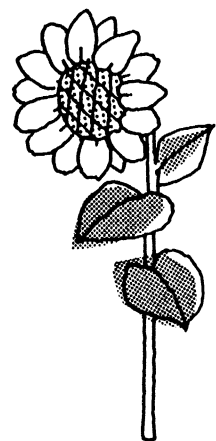
③研究紀要『学位研究』の取りまとめ

3. 情報提供

大学における各種の学習の機会に関する情報の収集，整理及び提供

①科目等履修生制度の開設大学一覧

②学位授与機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧の作成



○専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の教務担当教員及び事務職員への説明会の開催のお知らせ

専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の教務担当教員及び事務職員への説明会を次のとおり開催いたします。

1. 日 時
平成7年7月26日(水)
午後2時00分～4時30分
2. 場 所
昭和女子大学「グリーンホール」
東京都世田谷区太子堂1-7-57
(電)03-3411-5111
3. 対 象
専攻科の教務担当教員及び事務職員
4. 内 容
 - ① 学位規則第6条第1項に基づく学士の学位授与について
 - ② 学士の学位の申請手続きについて
 - ③ 専攻科認定申出の手続き等について



◆学位授与機構の構想についての提言④

○大学教育部会における審議の概要について

—抜粋—

(平成元年7月27日)
(大学審議会総会への報告)

1. 学位授与機関創設の必要性
 - ① 後期中等教育後のいわゆる高等教育段階の教育機関は、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校(専修学校専門課程)、各種大学校等、多様に発展しつつある。

このうちの大学以外の教育施設の中には、大学の学部段階あるいは大学院段階に相当する教育研究を行っているところもあるが、これらは本来大学とはその趣旨、目的、使命を異にするものである。しかし、これらの教育施設において組織的・体系的な教育を受けた者で、大学や大学院修了者と同等の水準にあると認められる者については、その履修の成果が社会的に適切に評価されるよう、国際的にも高等教育修了の証明書を意味する学位を授与し得るようにすることが要請されている。

このことは、今日の多様な高等教育の発展の要請に応ずるという観点からも、重要な意義を有するものと考えられる。

- ② しかしながら、学士や学位は、学術の中心として、自律的に高度の教育研究を行う大学が、一定の学問水準に達した者に対し、これを認めて与えるものとされており、国際的にも、原則として、この考え方は定着している。

このため、例えば、英国においては、大学だけが学位授与権を有することとされているので、ポリテクニク等の学位授与権を有しない教育機関のうち、大学に相当すると認められる教育研究を行っている機関の修了者に対して学位を授与するため、全国学位授与評議会(Council for National Academic Awards: CNAА)という大学に準じた自律的機関を設け、このCNAАが学位を授与することとしている。

③ したがって、我が国においても、大学に相当する水準の教育研究を行っている施設で組織的・体系的な教育を受け、大学から学位を授与された者と同等の水準にあると認められる者に対して、学位の国際的通用性を考慮しつつ、これを授与する途を開くためには、大学と同様に学位を授与する権能を有する機関として学位授与機関を創設する必要がある。

④ なお、学士については、我が国では伝統的に大学の学部を卒業した者の称号とされているが、国際的には、大学の学部段階の修了の証明書として、第一学位に位置付けられている例が多く、我が国においても、学位として位置付ける方向で検討する。

2. 学位授与機関の役割

学位授与機関が一定の要件を備える教育施設の課程を認定し、当該課程の修了者に対して、学位授与機関が学士を称することを認める（又は学士を学位として位置付ける場合には、学士の学位を授与する）こととする。

この場合、課程認定の対象としては、例えば各省庁所管の大学校のように、大学以外の

教育施設でその教育水準が大学の学部に相当すると認められるものとするのが適当である。

なお、前記の課程認定及び学位授与については、例えば、一定期間ごとに教育研究の実施状況を審査したり、当該課程のカリキュラム等を変更するときには改めて内容を見直すこととすることなど、学位授与水準を確保するための学位授与機関による関与の仕組みについて検討する必要がある。

3. 学位授与機関の位置付け等

学位は、学術の中心として自律的に高度の教育研究を行う大学が授与することが国際的にも原則とされていることから、学位授与機関は、大学と同様に、その専門的な判断に基づき、自律的に学位授与を行う機関として、大学に準ずる位置付けをする必要がある。

また、その組織編制等については、その専門的な任務の遂行及び学位の水準の確保の観点から、専門分野に関し高度の学識を有する者の参画を得る体制を整えることが必要である。

編集後記

◇ 第4号は、主に“資料編”として編集しました。

◇ 平成7年4月期の学士の学位授与申請者数が前年同期に比べ2.3倍増と大幅な増加となりました。毎学位授与申請受付期ごとに申請者数の大幅増となっており、学位に対する学習者の意欲や大きな期待を感じます。

この10月期も前年同期（345人）を大幅に上回る申請が予想されます。

◇ 審査会に置かれている専門委員会・部会の組織が、今後の学位授与申請等に対応できるよう

整備されました。

◇ 全国の国公私立大学の皆様の御協力、御支援をお願いします。

◇ 平成2年6月以来、学位授与機関創設調査室主幹、学位授与機構創設調査室総務主幹、本機構創設後は、総務課長として平成5年6月まで、機構の構想から立ち上げ期の大変重要な時期に勤務し御尽力された宮城 豊氏（42才）が、去る6月13日（火）急逝されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。（K.S.）

——平成7年度学位授与機構審査スケジュール——

区分	学士の学位授与 (6条1項関係)	専攻科認定関係	各省庁大学校関係	区分	学士の学位授与 (6条1項関係)	専攻科認定関係	各省庁大学校関係
4月	4月期申請受付(4/30まで)	認定済専攻科から状況報告書の提出(学年度開始2か月以内)	修士相当課程修了者から申請受付(課程修了後1か月以内)	10月	10月期申請受付(10/16まで)		
5月				11月			
		審査会(5月中旬)				審査会(11月中旬)	
		○専門委員会(～6月上旬)				○専門委員会(～1月下旬)	
			○専門委員会(～7月中旬)		○専門委員会(～12月上旬)	○専門委員会(～12月下旬)	
6月	修得単位の審査 審査担当委員の決定等		審査担当委員の決定等 口頭試問の実施	12月	修得単位の審査 審査担当委員の決定等	教員等の審査	審査担当委員の決定等 口頭試問の実施
	試験実施(6/18日)				面接試験実施(12/10日) 小論文試験実施 (12/17日)		
7月	○専門委員会(～8月上旬)		○専門委員会(～8月上旬)	1月	○専門委員会(～1月下旬)		○専門委員会(1月中旬)
	学修成果・試験の審査 総合判定		可否の判定		学修成果・試験の審査 総合判定		可否の判定
						審査会(1月下旬)	
8月				2月			博士の学位授与
		審査会(8月上旬)			学士の学位授与(～3月下旬)		
	学士の学位授与(8月下旬)		修士の学位授与				
9月		専攻科の認定申出(9/30まで)	博士相当課程修了者から申請受付(課程修了後1か月以内)	3月			学部相当課程修了者から申請受付
						審査会(3月中旬)	
							学士の学位授与

編集 学位授与機構広報委員会
 ☎226 神奈川県横浜市緑区
 長津田町4259番地
 ☎ 045-922-6441
 印刷 (株)昭和工業写真印刷所
 ☎108 東京都港区三田5-14-3
 ☎ 03-3452-8451